



## 1. 9月議会(9/25~10/17) 災害対策を改めて見直す

### <火山噴火予知に黄色信号>

御嶽山の火山噴火は50名以上が犠牲となりました。火山噴火は前兆現象が捉えやすいといわれていますが、今回の噴火は予知困難なパターンです。今回の経験を元に予知技術の向上はもちろんですが、住民等への情報提供・避難・救出など、改めて「富士山火山広域避難計画」に反映していきます。

### <国土強靱化の先取り>

本県が進める「地震・津波アクションプログラム2013」は、「美しさ」「強さ」「しなやかさ」を兼ね備え、国が進める「国土強靱化地域計画」のモデルケースとして取り組んでいます。

### <企業流出を防ぎ、進出を促す>

本県は、30年以上前から地震対策に取り組み、南海トラフを震源とする巨大地震・津波対策と、内陸フロントティアを拓く施策で、工業団地の整備による企業進出効果が表れています。しかし、まだ県や市町の防災対策の実績や計画がうまく伝わっていません。丁寧に説明し、企業の定着やにぎわい拠点創出に努めていきます。

### <静岡空港新幹線新駅>

新駅はJRの理解は得られていないものの、国の審議会での活用策が明らかになり、首都圏空港機能の補完(防災・需要負荷分散等)に期待がかかります。今回、調査費を計上し、駅建設に向け動き出しました。道のりは遠く感じますが、2020年の東京オリンピック頃を照準に合わせています。

### <子育ては尊い仕事>

子育て経験により培われた感性や母親力を、企業の商品作りや販売戦略に活かす取り組みが全市で実施中。来年度から始まる「子ども・子育て支援制度」では、保育ニーズは現在より1万人増加と予想され、その受け皿づくりを補正予算に反映しました。

### <学力等状況調査結果公表>

知事の判断により、県下の結果が公表され、国は違法と捉えています。制度では市町教育委員会の判断が必要ですが、知事は「公表ルールが明確でない」「地域総ぐるみで教育に取り組むことが重要」と考えています。子どもたちを基点に、もっと教育現場に切り込みたいと思います。



目次:

1. 9月議会 防災対策を P1  
改めて見直す他
2. 障がい者支援、看護、 P1  
地域包括ケアシステム
3. 所属する「建設委員 P2  
会」での質問と答弁
4. 地元と県政をつなぎ地 P2  
域間競争に生き残る
5. 議会外活動・視察等 P3
6. 台風18号被害の爪痕 P4
7. 富士地域政策課題と P4  
進捗状況(各地の要望)
8. ホットなニュース P4
9. 県政相談窓口 P4



富士市のゆるキャラ むすびん

### ハイライト:

- ・火山噴火防災への再認識
- ・企業留置と誘致
- ・静岡空港新駅設置へ
- ・子育ては尊い仕事
- ・学力状況調査結果公表
- ・発達障がい支援、特定看護  
師、地域包括ケアシ  
ステム等福祉・医療・介護
- ・常任委員会における質問
- ・地元と県政をつなぎ地域  
間競争に生き残る
- ・台風18号被害を検証
- ・要望は防災、構成資産の  
充実、田子の浦港整備
- ・県観光振興条例
- ・県家庭教育支援条例

## 2. 発達障がい支援・特定看護師・地域包括ケアシステム

発達障がい者を支援する議員連盟では、宇都宮大学教育学部特別支援教育専攻の梅永雄二教授を講師に勉強会を開催。また、特定看護師制度の活用と課題を参議院議員石



田まさひろしから講演を。来年度から始まる地域包括ケアシステムにおけるリハビリ専門職の関

わりについて、静岡県理学療法士会との意見交換会を開催。

特に、リハビリ関連は自民党県連との仲介を実施し、県健康福祉部長に要望活動が実現でき、組織対応に満足。





台日関係と地方交流について講演する、台北駐日経済文化代表横浜分所長 粘 信士氏



ハワイ島国立天文台すばる望遠鏡の副所長林准教授と。日本が誇る世界一の宇宙を見る目。海拔約4,200m。



スペースシャトル チャレンジャー号の事故でなくなった日系宇宙飛行士エリソン・オニツカ氏の姉に地元記念館でお会いした。



自民改革会議の会派内研修で、静岡県の地震津波対策への取り組みについて、勉強会を開催。講師は、県危機管理部長の岩田危機管理監。



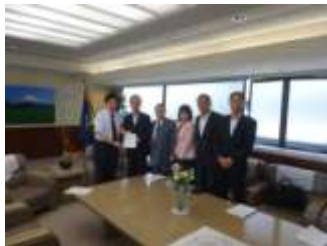
静岡県立大学グローバル地域センター主催の公開講座。ものづくりの極みである航空機産業について、本県出身三菱航空機会長江川氏が講演。

### 3. 所属する「建設委員会」での質問と答弁(●は当局答弁概要)

所管事務全般が質問対象で事前通告は無く当日開示。担当委員として自ら質問を設定。

- (1)協働による公共事業等の推進において、富士市の補助金不正受給の影響は
  - 富士市の問題は所管がくらし環境部であるが、交通基盤部も県民との協働事業で同様の課題を抱えており、不正防止のための対応策を講じる。ただ、市民活動が抑制されないよう配慮も必要。パートナーである県民が制度への不満や意見を持つこともあることから、それらに配慮する姿勢も大切である。
- (2)沼川流域の治水対策への取り組みと台風18号被災者への配慮は
  - 長期計画では「沼川河川整備計画」に基づき効率的な治水対策を推進する。江尾江川では既に河川の拡幅などの検討に入った。台風18号の被災地に対しては、これまでも度々床上浸水などが発生していることから、住民との意見交換も踏まえ、より現実的な取り組みを促すことを期待。
- (3)田子の浦港のポートセールスへの取り組み状況
  - 富士市だけでなく周辺市町、商工会議所、企業など幅広く巻き込むことが必要。駿河湾三港はいずれも防災対策を盤石にしていこうとも「売り」とする。
- (4)「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」における内外への情報発信について
  - 東京で開催された「ツーリズムEXPOジャパン2014」に参加し、本県の持つ魅力や県産品の販路拡大等、国内外への情報発信を行った。
- (5)「新々富士川橋建設事業の促進について」の陳情に応える県の心構え
  - 地元市町や住民の皆様の理解と協力を得て、一日も早い完成を目指す。

### 4. 地元と県政をつなぎ、地域間競争に生き残る！



#### (1)富士市の県に対する次年度要望の説明会

富士市では毎年8月上旬に、県に対する次年度要望をとりまとめ、富士市選出の県議会議員が市役所にて一堂に会し、市長、副市長、教育長、財政部長、総務部長、企画課長から説明を受ける。その要望に対する質疑の他、市政・県政における幅広い意見交換も実現するが、この顔ぶれで集まるのは年1回きりである。



#### (2)県に対する要望書提出の課題

私がこの説明会に出席するのは4回目であるが、昨年までこの説明会后、要望がどのようにして県に届くのか不明であった。その確認を市に求めたところ、9月頃、市の担当が県の市町村課を訪ね届けるとのことであった。後は、その処遇についてのフォローは地元県議が行うだろうという意図だったかもしれない。市の重要な要望を県議も連携して実現を目指すには、希薄な感じを持った。



#### (3)県幹部(知事・副知事・担当部長)に誠意を持って接する

提出方法について、市幹部や他県議も問題意識はあまりなかったようであるが、昨年、私が自民党県連の政調会副会長であった経験から、他市の状況を説明し、市から県幹部への地元県議同席での要望活動を求めたところ、知事、副知事が快諾してくれた。

#### (4)市からの県要望をフォローすべき県議会議員の役割

県財政も厳しくなり地域間競争が激しくなっている。県政全体を見渡す県議会議員の責務は当然であるが、地域を代表する県議会議員でもあり、地元市町と一丸となった取り組みは重要な役割として、地域の生き残りのために再認識すべきだ。

(写真上から下へ順に、川勝知事、難波副知事、担当部幹部への要望を実現した。)



## 5. 議会外活動・視察報告

### 海外先進地視察(森の豊かさが人間を豊かにする欧州、自然と人との共生ハワイ州)



オーストリアのウィーンから約300km離れた集成材製造企業(KLH社)視察の帰途見かけた、木造3階建て集合住宅。集成材で作られている。



ドイツ中部の世界自然遺産に登録された「ケラーヴェルト・エーダー湖国立公園古代ブナ林群」をレンジャー隊員の案内で視察。環境先進国に脱帽。



ハワイ島マウナケア山頂上にある国立天文台すばる望遠鏡を視察。望遠鏡の目となるCCDは浜松企業製。先輩故戸塚先生との縁で特別許可。



世界有数の観光地であるハワイオアフ島の電力は、ゴミ発電から得ている。環境・省エネ対策について、ハワイと日本の取り組みについて意見交換。

### 県内視察(芸術の広がり、空の玄関、田子の浦ブランドのしらす、平時・非常時で活用できる防災施設)



グランシップ(県営文化施設)の自主事業「音楽の広場」が富士市ロゼで初めて開催された。オーケストラの規模に圧倒。川勝知事も出席した。



静岡空港に地方空港としては最大のビジネス機専用格納庫が誕生した。2020年の東京オリンピック開催や、ビジネス機需要の先取り対策。



県議会建設委員会の県内視察の折、田子の浦漁港しらす食堂で昼食。しらすは県内漁港各地で食べることができるが、田子の浦が一番の評価。



焼津漁港中津公園は、平時は市民の憩いの場所として、非常時は防災施設として整備された。熱心な焼津市のアピールにより実現できた。

### 県内視察(遠州灘防潮堤、年三回の収穫、木が支える総合体育館、内陸から沿岸へ)



浜松市遠州灘海岸に建設中の防潮堤を視察。土砂とセメントを混ぜた材料で延長約17kmを建設予定。しかし、必要とする土砂確保は大変。



森町の専業農家は、水田の畑地利用を実現するため、地下水位制御システム(フォアス)により、年間にレタス、トウモロコシ、米を同じ農地で耕作。



県営草薙総合体育館の建て替えが進んでいる。3,000t近い屋根を支えるのは県内産の木材を使用した集成材の骨組み。力強さと温かみが調和。



伊豆半島内陸部の沼津市大平と沿岸部下香貫を結ぶ像山を貫く静浦1号トンネルを視察。平時は交通渋滞の緩和を。非常時は避難路として。

### 地域行事(BS湧水ワークショップ、うなぎ供養、地区体育祭、市子連ドッジボール大会)



ボーイスカウトのワークショップで、湧水体験の講師を担う。年間を通じて水温14度は夏期では冷たく感じることに驚きが。郷土の誇りを継承していく。



県東部蒲焼商組合の総会が富士市樟泉閣で開催。はじめにうなぎ供養を。総会では私が県が取り組むうなぎの資源保護について講話を行った。



地区体育祭が各地で開催された。2020年開催予定の東京オリンピックや健康維持のためのスポーツへの関心の高まりなど、追い風が吹く。



富士市子ども会連絡協議会主催のドッジボール大会が富士川体育館で開催。子ども達の真剣な取り組みにいつの間にか来賓も含め一体感が漂う。

## 6. 台風18号被害の爪痕



富士市江尾地区では、床上浸水の被害が発生。3年前にも同じ場所と同じ事態が発生しており、抜本的解決が必要。



普段はほとんど枯れた状態の須津川もこのような濁流に。下流域沼川との合流地点に堆積した土砂の影響が気になる。



赤淵川をまたぐ根方街道。昭和49年の七夕豪雨ではこの橋に流木が詰まり周辺が浸水被害に。後改修し今後も注視。



根方街道が松原川をまたぐ地点の北側。流木がつかえ床上浸水が発生。根方街道橋が狭隘で北側の整備も必要か。

## 7. 富士地域政策課題と進捗状況（各地の要望から）



江尾江川は、治水対策が始まっている。沼津線の下が狭く、県整備計画ではこの部分の改修から始めたいとのこと。



須津川と沼川の合流地点。沼川東側に土砂が堆積している。沼川の水を速やかにするためにも浚渫が必要。



台風18号被害の1ヶ月前、今年降水量が少なく、赤淵川他多くの河川で、雑草と土砂堆積が問題に。県職と対策。



富士山世界遺産登録では、富士市に構成資産がないと嘆く声。山体も資産であるが、吉原登山道の調査が進む。

## 8. ホットなニュース

### ◆ 静岡県観光振興条例（議員発議条例）

静岡県は多彩で魅力ある観光資源を有している。県・市町・県民・観光事業者及び観光関係団体が一丸となって地域の魅力を高め、観光の振興に関する施策を総合的に推進することにより、本県の持続的な発展と、真に豊かで活力満ちた地域社会を実現するために制定するもの。

### ◆ 静岡県家庭教育支援条例（議員発議条例）

家庭は、子どもの心のよりどころとなる場所であるとともに、全ての教育の出発点である。特に乳幼児期から思春期にかけての家庭教育は、社会との関わり方や人生観など、人間形成に大きな影響を与えることから、保護者の役割は極めて重要である。しかし、家庭の教育力の低下が指摘されている。学校・地域等社会全体で家庭教育を支援していく。

### ◆ 本県出身 天野浩名古屋大学大学院教授のノーベル賞受賞に対する祝意の表明（静岡県議会）



「ふじのくに田子の浦みなと公園」には、地元から100分の1の富士山設置を強く要望している。何とか実現したいが。



田子の浦港JR北側沼川の貯木場跡地は、港の浚渫土を埋めて駐艇場に。沼川の違法係留対策の一環。

### ◆ 9月議会で決定した国へ提出される意見書・決議

- ① 農林漁業用に係る軽油取引税の課税免税措置の恒久化
  - ② 「農協・農業委員会等に関する改革」に慎重な対応を求める
  - ③ 危険ドラッグ対策の早急な強化を求める
  - ④ 物流業における産業基盤・労働環境の整備
  - ⑤ 軽度外傷性脳損傷に係る適切な労災認定の取り組みを求める
- <決議>ラグビーワールドカップ2019の静岡県誘致

## 9. 県政相談窓口

「県政相談窓口」とは、道路・河川等の整備の他、地域の課題についてご相談を承ります。

市と県、国の担当範囲が明確でない場合もありますが、こちらで調査致しますので、区別なくお気軽に問い合わせ下さい。

ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関に確認し、その可否についてもご返事いたしますが、お時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。

### 発行者 静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

県政相談窓口および「らしんばん」発行者連絡先  
 静岡県富士市比奈1418番地の2 〒417-0847  
 Tel 0545-34-0683  
 Fax 0545-38-0070  
 メールアドレス: himena@tokai.or.jp  
 ホームページ: <http://sumiyoshi.info/>  
 ブログ: <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>